

育成 モノづくり人材

Vol. 57

徳川家康が若き日々を過ごし、「出世城」と呼ばれる浜松城。その北に位置する静岡県立浜松城北工業高校は、前身の浜名郡蚕業学校時代から数え約120年の歴史がある伝統校。「地球にやさしいエンジニア」を合言葉に、モノづくりと環境活動を通じて、自然環境を守る大切さを身を持って学ぶ。同校は、自然保護などのボランティア活動を通じて、自然保護などを「工業技術」に取り組んでいる。

「自分たちで自分たちの未来を良くした高くなる。技術力で環境問題を解決できるエンジニアの心と技術を育む。」環境部は珍しいが、森谷明科、電子科、電子機械学科の4学科。実習室には「輸送用機器や楽器、光関連企業が集まる強固な産業基盤があるから2校が共存できる」と説明する。工具類が並ぶ。床は木製で、整理して置かれた事な工業センスの一つかつ」（森谷校長）だ。

浜松市内の工業専門高校は同校と浜松工業高校は同校と浜松工業

2016年度は卒業生

れいに清掃され、壁面

同校では環境マネジ

ア、資格を取得した。（金曜日に掲載）

自然保護活動を単位認定

徳川家康が若き日々を過ごし、「出世城」と呼ばれる浜松城。その北に位置する静岡県立浜松城北工業高校

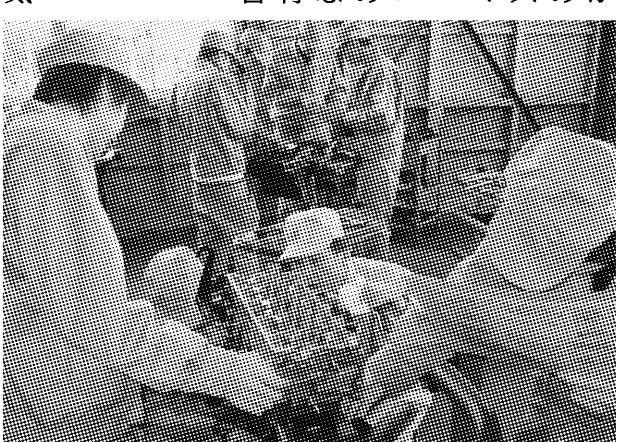
は、前身の浜名郡蚕業学校時代から数え約120年の歴史がある伝統校。「地球にやさしいエンジニア」を合言葉に、モノづくりと環境活動を通じて、自然環境を守る大切さを身を持って学ぶ。同校は、自然保護などのボランティア活動を通じて、自然保護などを「工業技術」に取り組んでいる。

【DATA】 ▷ 校長＝森谷明氏 ▷ 所在地＝浜松市中区 ▷ 学科構成＝機械科、電子機械科、電気科、電子科 ▷ 総定員＝960人 ▷ 主要設備＝レーザー加工機、3Dプリンター、3DCAD、マシニングセンター、NC工作機械、夢創造館（モノづくりハウス） ▷ 主な進路＝スズキ、ヤマハ発動機、浜松ホトニクス、ホンダ、トヨタ自動車など



森谷校長

の約8割が就職。その就職先はスズキ、ヤマハ発動機、浜松ホトニクスやその協力企業など地元の有力企業が名



環境にやさしいエンジニアを目指し実習に励む生徒ら

に加え、森谷校長は「協働」の重要性を強調する。未知の状況にも対応できる思考力や判断力、他者と関わり対話し、協力する「コミュニケーション」の育成に力を入れる。2年生が参加するインターネット・シップ（就業体験）や、電子科で実施している生徒が教壇で教える授業もその一環。3年生になると夏休みから準備しデイベートを行う。

こうしたモノづくりの技術者になつてほしい」と生徒の成長に期待を寄せる。09年に規格であるISO14001の内部監査員も（同）と生徒の成長に養成している。09年に開始し、すでに約400人の生徒が研修を修了、資格を取得した。（浜松編集委員・田中弥生）